

# 由仁町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

第6次由仁町総合計画に位置付けた「町内の公共交通空白地域の解消など町内交通体系の検討・確保」を推進する観点から、交通空白地域の解消に向けた新たな公共交通体系を検証するため、デマンドタクシーの実証運行を実施したところであり、当該実証運行結果等を踏まえ、高齢化社会に対応するために、町内公共交通空白地域に住む高齢者や免許返納者等に対し、町内公共施設、医療機関の利用や町内商店街での買い物、路線バス、JRとの接続等のための移動手段を確保し、高齢者の健康増進や地域経済の活性化などの効果が期待される交通体系を構築すること。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

1便当たりの利用者数目標2.8人  
年間延べ利用者数目標1,050人  
年間実利用数目標42人

## 平成31年度事業概要

運行系統名 : 由仁町内線(運行区域の自宅～由仁町役場、健康元気づくり館、JR由仁駅、由仁町立診療所等の間)  
運行区域 : 川端、東三川、中三川、本三川、岩内、山榎および熊本の一部の地区  
運行日 : 月曜日・水曜日・土曜日 ※祝祭日も運行。年末年始(12月31日～1月5日)は運休。  
運行便数 : 1日4便運行 ①便8:15～9:30 ②便11:45～13:00 ③便13:15～14:30 ④便15:45～17:00  
運賃 : 対象地区に住んでいる65歳以上の方、1人1乗車につき250円。  
※運転免許返納者、身体障害者手帳所有者、一定の事由により免許が取り消し、または免許の効力が停止された者、一定の事由により免許が与えられなかった者は100円。

## 地域公共交通の現況

- ・JR室蘭本線(由仁駅、古山駅、三川駅)
- ・JR石勝線(川端駅)
- ・北海道中央バス(株)(岩見沢路線三川線)
- ・夕張鉄道(株)【夕鉄バス】(急行線)

## 協議会開催状況

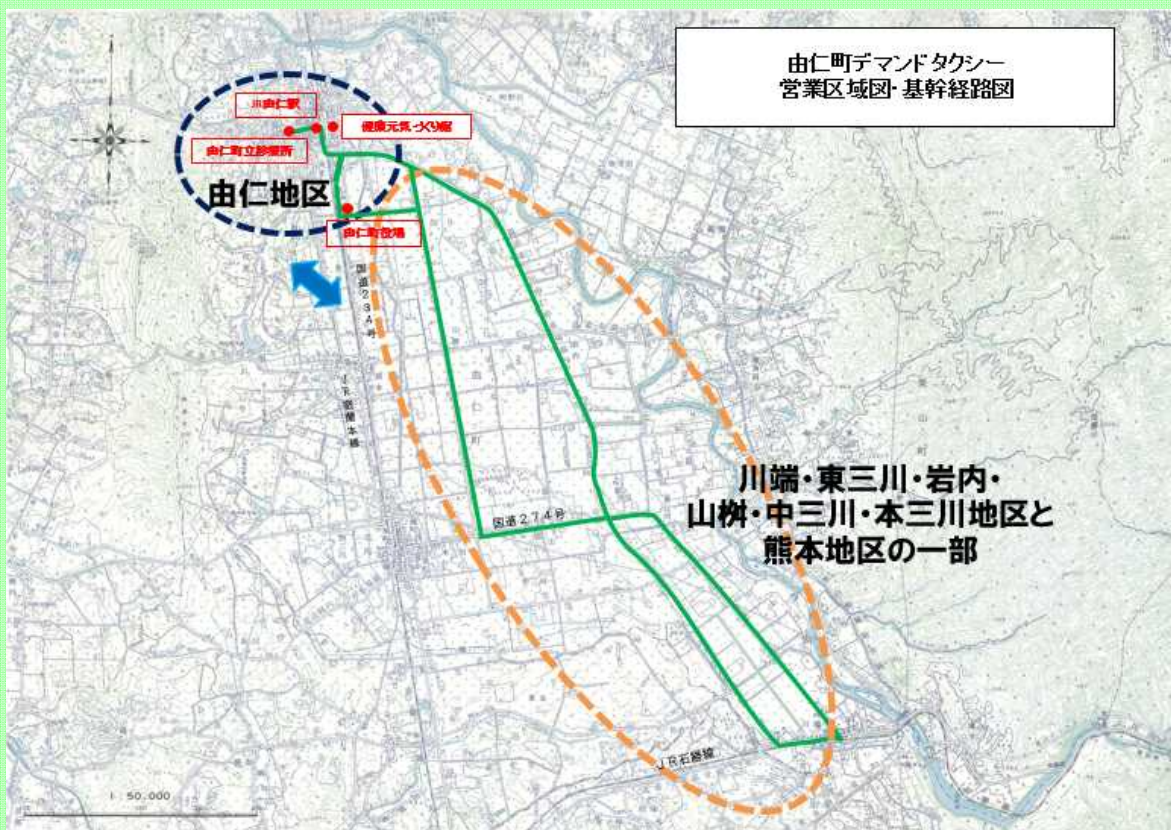
- 平成31年3月1日  
平成30年度第3回会議を開催  
・運行状況(報告)、事業評価(協議)
- 令和元年6月24日  
令和元年度第1回会議を開催  
・運行状況(報告)、生活交通確保維持改善計画(協議)
- 令和2年1月21日  
令和元年度第2回会議を開催  
・地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価

## 平成31年度事業の実施状況

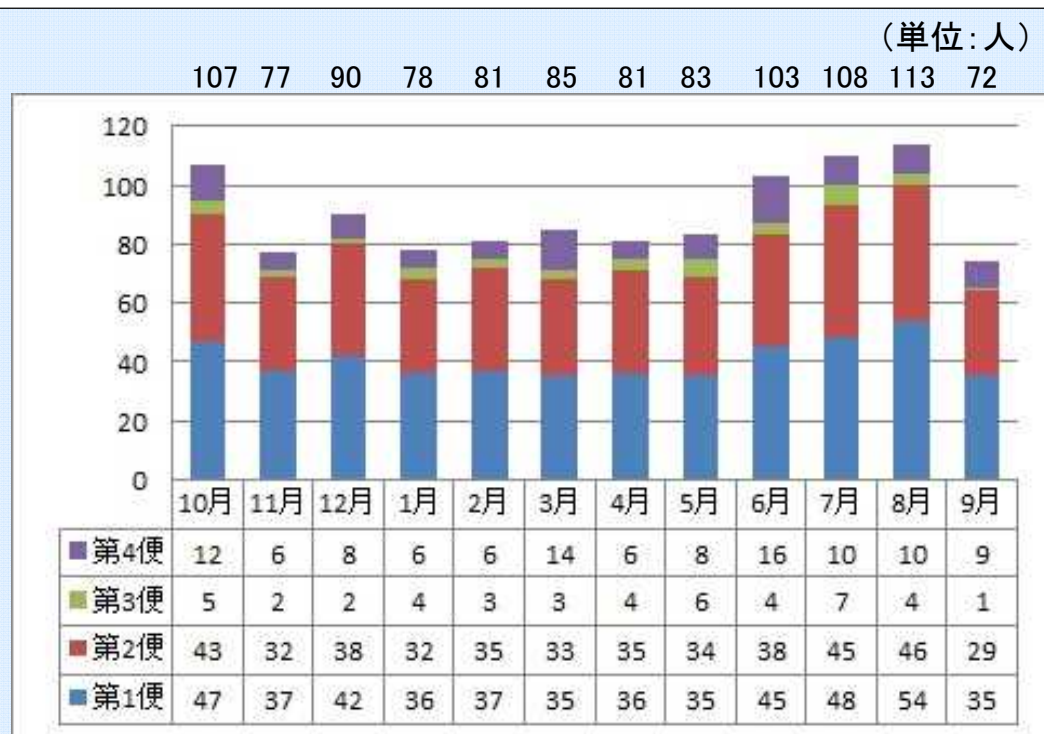
### 1) プロセス、創意工夫

- ・約3年の実証運行の結果を元に、曜日の変更と時間帯を追加し、平成27年10月1日から本格運行を実施。
- ・平成30年度において、運行区域拡大の要望を受け老人クラブ会合時等での意向調査とあわせ、これまでの利用状況の検証を行い、効率的な運行となるよう事業計画の見直しを行った。
- ・平成30年4月1日より運行区域に熊本地区の一部を加え、利用度の低い夕方便を廃止し、午前、午後各2便の1日4便運行とした。
- ・町広報には年2回掲載するとともに、対象地区の老人クラブにも登録及び利用促進を呼びかけた。

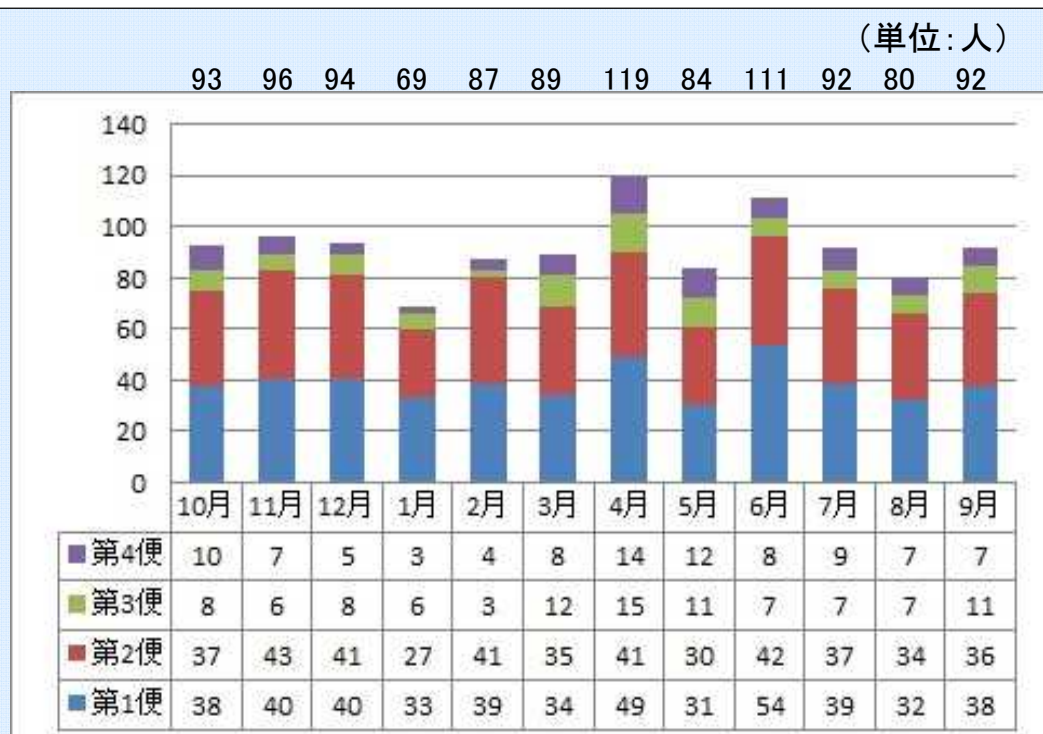
### 2) 運行系統



### 3) 利用実績



平成30年度(平成29年10月～平成30年9月) 合計1,083人



平成31年度(平成30年10月～令和元年9月) 合計1,106人

### 4) 収入実績



平成30年度(平成29年10月～平成30年9月) 合計229千円



平成31年度(平成30年10月～令和元年9月) 合計229千円

## 5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

## 7) 事業の今後の改善点

新規登録者が増え、延べ利用者数は増加しているものの、特定利用者が目立つ傾向にあり、今後も引き続き利用促進のための周知が必要と考える。

## 6) 目標・効果達成状況

1便当たりの利用者数は目標の2.8人に対し、2.7人と届かなかった。原因としては、新規登録者が増えてはいるが、実際の利用にはつながっていないことを示している。また、年間延べ利用者数では目標1,050人に対し56人増の1,106人となっている。また、年間実利用者数は目標の42人をクリアし45人となった。

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和2年度分と併せて評価)